



第36期

事業報告書



平成25年10月1日 ▶ 平成26年9月30日



Special Teaching and Education by Professionals

株式会社 **STEP** 株主通信

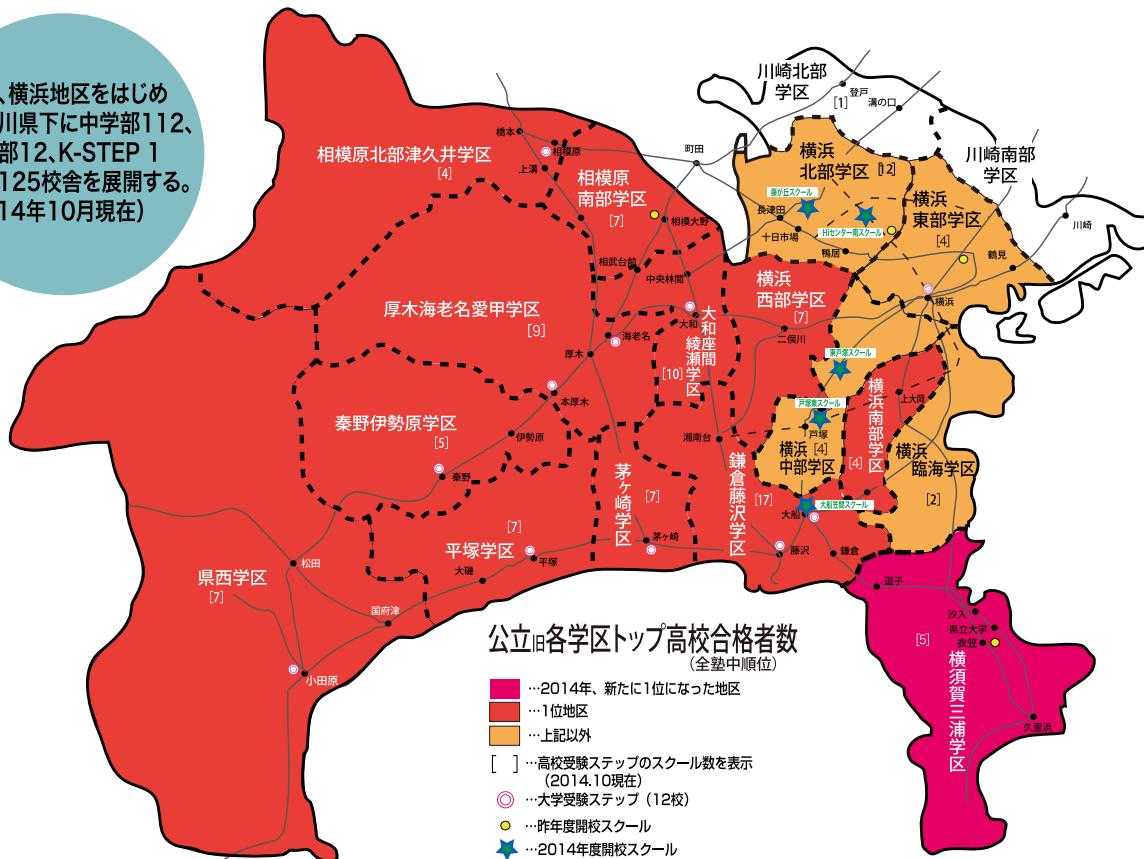
“子どもたちを元気にする塾”



CONTENTS／目次

STEPスクール地図	1
今年のTOPICS	2
What's STEP	5
STEP by STEP	6
業績の推移	7
損益計算書の要旨	8
貸借対照表の要旨	9
株主資本等変動計算書の要旨	10
株式の状況	11
第37期業績予想	12
会社の概要・株主メモ	13

湘南、横浜地区をはじめ
神奈川県下に中学部112、
高校部12、K-STEP 1
の計125校舎を展開する。
(2014年10月現在)



公立11各学区トップ高校合格者数 (全塾中順位)

- …2014年、新たに1位になった地区
- …1位地区
- …上記以外
- [] …高校受験ステップのスクール数を表示
(2014.10現在)
- …大学受験ステップ (12校)
- …昨年度開校スクール
- ★ …2014年度開校スクール

鎌倉学区
長六善藤藤沢中央ライフタウンライフタウン辻大湘南湘南台用堂

茅ヶ崎学区
辻茅ヶ崎西茅ヶ崎小茅ヶ崎平塚茅ヶ崎宮崎須賀三浦

横浜学区
相模原北相模原南厚木海老名愛甲秦野伊勢原平塚茅ヶ崎鎌倉藤沢

厚木学区・大和学区
中央林間厚木厚木西厚木東厚木愛老海老名海老名西高瀬高瀬大和相模原綾瀬

相模原南学区
相模原南相模原大野橋相模原上原東原古淵秦野伊勢原相模原

県西学区
鴨宮小田原富水松戸鴨宮南足柄

Hi-STEP
Hi-STEP 湘南スクール
Hi-STEP 鎌倉スクール
Hi-STEP 大和スクール
Hi-STEP 二俣川スクール
Hi-STEP 茅ヶ崎スクール
Hi-STEP 海老名スクール
Hi-STEP 横浜南スクール
Hi-STEP 青葉台スクール
Hi-STEP 小田原スクール
Hi-STEP 秦野スクール
Hi-STEP 中央林間スクール
Hi-STEP 相模原スクール
Hi-STEP 戸塚スクール
Hi-STEP 横浜スクール
Hi-STEP 大船スクール
Hi-STEP 金沢文庫スクール
Hi-STEP 相模大野スクール
Hi-STEP 厚木スクール
Hi-STEP 宮前平スクール
Hi-STEP 日吉スクール

K-STEP
戸塚東大船笠間藤が丘

K-STEP
藤沢

大学受験STEP
大学受験STEP 藤沢校
大学受験STEP 大和校
大学受験STEP 茅ヶ崎校
大学受験STEP 海老名校
大学受験STEP 小田原校
大学受験STEP 秦野校
大学受験STEP 相模原校
大学受験STEP 厚木校
大学受験STEP 横浜校
大学受験STEP 大船校
大学受験STEP 相模大野校



2015年度オリコン顧客満足度ランキング・ 高校受験集団塾(首都圏)部門でステップが総合第1位

～ 項目別でも8項目で1位 ～

2014年11月4日発表の2015年度オリコン顧客満足度ランキングで、ステップが高校受験集団塾(首都圏)部門で総合第1位に選ばれました。音楽のランキングで知られているオリコンは2006年から消費者サービス部門の顧客満足度ランキングを公表しています。昨年から教育部門の中に、高校受験部門(首都圏)のランキングが加わりました。調査はインターネット・リサーチを活用したものです。また、項目別ランキングでも、10項目中の8項目でトップの評価をいただきました。8部門とは「成績向上・結果」「適切な受講料」「適切な人数・クラス」「講師の質」「カリキュラムの充実度」「通いやすさ・治安」「スタッフ」「情報」の各項目です。

神奈川県公立トップ校

中学部

湘南・厚木・柏陽など1945名合格で全塾中No.1
横須賀高校合格者数、横須賀に開校5年目で全塾中No.1に
東京学芸大附属高校に51名(うち外進生47名)合格

高校入試合格実績、さらに伸びる!

東京学芸大附属高校に51名合格(うち外進生47名)

ステップ生の通学圏内で最難関のひとつ、国立東京学芸大学附属(外進生)の合格実績で、6年連続して全塾中No.1となりました。2014年度入試では、外部進学生用の一般枠は102名で、ステップから47名が合格しました。

2014年度
東京学芸大附属
高校合格発表風景



神奈川県公立トップ高校1945名合格! 横須賀高校 塾別合格者数No.1に!

神奈川県公立トップ高校に1945名が合格、昨年比200名増です。ステップから県内公立高校に合格した生徒の約41%がトップ校に合格したことになります。県内最難関・湘南に184名合格をはじめ名門・厚木に182名、同じく小田原に170名(いずれも定員の5割強)、さらに横浜の伝統校・希望ヶ丘など公立トップ校11校で塾別合格者数No.1です。特筆すべきは、横須賀地区に開校して5年で、地区トップ校・横須

賀高校への合格者数が塾別合格者数No.1となったことです。

「神奈川県公立トップ作戦」進行中!

1986年に湘南で合格者数トップ(53名合格)として以来、神奈川県各学区のトップ校合格者数No.1を目指す「トップ作戦」を進めてきました。湘南では29年間、No.1を継続中。1990年に大和、93年に茅ヶ崎北陵、97年に横浜の希望ヶ丘、2000年に秦野、01年に平塚江南、02年に小田原で全塾中No.1とし、激戦を続けてきた厚木で02年に初の単

独トップ、相模原も03年にと、相次いでトップを奪取し、以降、追従を許さず全塾中No.1を継続しています。また横浜のトップ高校・柏陽でも8年連続トップを継続中です。09年春に初めてスクールを開校した横須賀地区では、今春、トップ校の横須賀に75名が合格し、開校5年目で塾別合格者数トップとなりました。

神奈川県内の学習塾 2014年度合格実績比較表

高校名	STEP	臨海セミナー	湘南ゼミナール
湘南	184	47	51
柏陽	131	24	68
横浜翠嵐	56	127	132
平塚江南	182	28	7
小田原	170	25	1
秦野	154	29	4
茅ヶ崎北陵	162	28	8
厚木	182	31	14
相模原	119	40	15
希望ヶ丘	128	47	73
大和	96	29	51
川和	81	60	92
光陵	49	90	94
横浜緑ヶ丘	65	29	97
横須賀	75	72	15
多摩	7	65	46
横浜国際	34	41	34
神奈川総合	23	36	44
横浜サイエンスフロンティア	47	34	55
合計	1,945	882	901

はステップが合格者数1位

中学部

群を抜く高校別合格率！ 特に特色検査実施校で高い合格率

ステップの合格実績は合格率の高さにも示されています。右下の表はステップ生の合格率と、ステップ生以外の合格率を比較したものです。

湘南高校を例にとると、ステップ生の合格率は84.4%ですが、ステップ生以外では57.7%となっています。また横浜翠嵐高校でもステップ生の合格率は80.0%ですが、ステップ生以

2014年度
湘南高校
合格発表風景



公立中高一貫校の合格実績が伸びる

神奈川の公立中高一貫校は2009年より開設され、毎年5倍～8倍もの競争率になりますが、その中でステップ生は、2014年度は相模原中等教育学校に29名（定員160名）、平塚中等教育学校に34名（定員160名）、横浜市立南附属中学校に7名が合格しました。

高校部

大学合格実績、着実に向上

高校部においても、大学進学実績は年々着実に向上しています。今春は国公立大に122名、早慶上智に184名、理大MARCHに681名が合格しています。今後も多様化した受験形態に対応するシステム・環境作りを進めてまいります。

外では54.0%となっています。その違いは歴然としています。

とりわけ湘南、横浜翠嵐、厚木、柏陽、希望ヶ丘、小田原、平塚江南などの特色検査実施校（下記の表で校名緑色）では、各校の傾向に合わせた特色検査対応の模試を実施していることもあり、合格率がステップ生以外との大きな違いとなって現れています。

2014年度 ステップ生の主な公立高校合格率

学校名	ステップ生			ステップ生以外			県教委発表		
	合格者数	受験者数	合格率	合格者数	受験者数	合格率	合格者数	受験者数	合格率
湘南	184	218	84.4%	177	307	57.7%	361	525	68.8%
厚木	182	211	86.3%	176	237	74.3%	358	448	79.9%
大和	96	117	82.1%	184	238	77.3%	280	355	78.9%
茅ヶ崎北陵	162	195	83.1%	116	143	81.1%	278	338	82.2%
相模原	119	133	89.5%	164	213	77.0%	283	346	81.8%
横浜翠嵐	56	70	80.0%	311	576	54.0%	367	646	56.8%
川和	81	94	86.2%	278	412	67.5%	359	506	70.9%
希望ヶ丘	128	135	94.8%	232	304	76.3%	360	439	82.0%
光陵	49	58	84.5%	237	348	68.1%	286	406	70.4%
柏陽	131	160	81.9%	187	269	69.5%	318	429	74.1%
横浜緑ヶ丘	65	70	92.9%	215	341	63.0%	280	411	68.1%
神奈川総合(個)	12	17	70.6%	118	201	58.7%	130	218	59.6%
神奈川総合(国)	11	12	91.7%	109	129	84.5%	120	141	85.1%
YSFH	47	54	87.0%	191	294	65.0%	238	348	68.4%
多摩	7	9	77.8%	273	381	71.7%	280	390	71.8%
横須賀	75	90	83.3%	205	280	73.2%	280	370	75.7%
秦野	154	184	83.7%	207	270	76.7%	361	454	79.5%
小田原	170	182	93.4%	152	181	84.0%	322	363	88.7%
平塚江南	182	189	96.3%	140	163	85.9%	322	352	91.5%
横浜国際	34	35	97.1%	185	249	74.3%	219	284	77.1%
旧トップ校合計	1945	2233	87.1%	3857	5536	69.7%	5802	7769	74.7%



STEPは、サービス産業生産性協議会のガイドラインに沿った「学習塾業認証制度 認証基準」によって「消費者が安心してサービスを受けるための適切な措置を講じている学習塾」として認証されています。

- 改正特定商取引法に100%対応しています。
- ステップは、消費者保護の向上を目的に施行されている「改正特定商取引法」の精神に全面的に賛同し、適切な入塾契約書の交付、中途解約およびクーリング・オフ制度の確立、個人情報保護システムの整備などに完全対応した体制を整えています。

スクールの開校・移転

中学部
高校部

中学部・高校部で新規開校 来春、高校部2校開校！ 授業ビデオ配信「e-STEP」のコンテンツが充実！

ステップ 生徒数2万3千人へ

2014年10月、ステップの生徒総数(中学部、高校部、個別指導の合計)が2万3千人を超えました。

新スクール開校、新校舎建設！

中学部 横浜北部や横浜中部などに5スクールを開校！

2014年度は、中学部は横浜中部に戸塚東スクールと東戸塚スクール、南部に大船笠間スクールを開校し、さらにハイス

テップセンター南スクー
ルを開校しました。7月に
は横浜北部に藤が丘

スクールを開校しました。
また、センター南スクールと渋沢
スクール、相武台スクールの3校
を移転開校しました。

ハイス
テップ
センター南
スクール▶



高校部: 来春14校舎体制に

2015年度 戸塚校、センター南校を開校！

高校部では2013年春に相模大野校を開校しましたが、2015年春に、新たに戸塚校とセンター南校を開校し14校舎となります。現役合格を応援する高校部は、受験形態の多様化に対応したシステム作り、環境作りを進めています。

授業ビデオ配信「e-STEP」を拡充 中学部・高校部ともにコンテンツがさらに充実

授業映像を社内ネットワーク、及びインターネットを使って塾生対象に配信するシステムを構築。予習や復習、あるいは授業を欠席したときなど、いつでも自宅でその単元を学習できます。中学部・高校部ともにコンテンツを拡充しており、その数は、中学部で500以上、高校部で2000以上、一通り基本形を完成しています。

「STEPパス」システム リニューアル

ステップでは、生徒の入退室や、お知らせメール等をご家庭にお送りする「STEPパス」システムが全スクールに設置されており、通塾の行き帰りを心配されていた保護者の方から大変好評です。このたび、このシステムを、より使いやすいバージョンアップしました。

新システムにより、入退室の記録を過去にさかのぼって確認できたり、スクールからお届けするお知らせメールを読みなおすこともできます。さらにこのシステムを使って授業料などの引落明細照会ができるようになりました。

●ブルキナファソへ～「栄養失調児センター」への資金援助～●

ステップでは教師・スタッフをはじめ生徒たちの協力も得て、ボランティア活動に取り組んでいます。その一つがアフリカ・ブルキナファソの「栄養失調児センター」運営維持費の資金援助です。ステップでは1997年から、この活動を続けてまいりました。

ブルキナファソとはアフリカ内陸にある世界で最も貧しい国の一つで、近年はまったく雨の降らない年が続き、深刻な飢餓がー帯をおそっています。「栄養失調児センター」では、経済事情により病院や健康センターなどの有料施設に行くことのできない人々を受け入れ、無料で治療を行いつつ、食料の自給自足を目指し、母子たちとともに耕作などの共同作業を行っています。

「ブルキナファソ栄養失調児センター」のホームページ <<http://www.cren.jp/>>

1 高校受験ステップ (中学部)

1.専任教師制が主軸 充実した教師研修システム

非常勤講師を相当数採用している学習塾が多い中で、ステップは質の高い教師養成のために専任教師主軸という基調を貫いています。生徒をサポートするには質の高い授業が決め手だと考え、研修に力を入れ、教師同士で繰り返す模擬授業を中心に、技術と学力を磨き合い、高技術をもった専門職として育てています。例えば英語では、ネイティブのコーチのもと、リスニング、会話などのレベル別研修が行われており、教師の実力向上を目指しています。

2.コミュニケーションを大切にした生徒指導

1クラス定員 小学生16名 中学生20名

生徒全員の顔と名前が分かるように、1クラスの定員は小学生16名、中学生20名に。毎日生徒たちが「今日も来て良かった」と思えるように、授業内容、教材などの工夫を繰り返しています。質の高い授業こそ、子どもの減少や競争に負けない最強の戦略。生徒や保護者の信頼を財産とし、神奈川県全域への密度の濃い展開を進めています。

高校受験ステップ
研修の様子



2 大学受験ステップ (高校部)

生徒参加型の少人数制の授業

大学受験ステップは、大手予備校タイプの大人数教室で教師が壇上に立って一方的に話す形の授業ではなく、双方向のコミュニケーションを大事にしています。高校部は「生徒参加型の少人数制の授業」がモットーです。

難関大学合格をめざすスーパークラス・チャレンジクラスの他、ハイレベルクラスやスタンダードクラス、さらには高校対応のクラスや個別指導など、多様なクラス編成で現役高校生の希望に応じています。高校対応のクラスは数学などで各高校のカリキュラムに対応した授業を行います。ロスの少ない合理的なシステムで現役合格をバックアップします。

来春開校
大学受験ステップ
戸塚校



3 本部—各スクール校舎を繋ぐ

ノーツ・ネットワーク・システムがフル稼働

ステップの全スクールと本部各部署は、ノーツ・ネットワーク・システムで結ばれています。中学部・高校部とも毎日、各部署からの連絡、スクールや教師からの様々な情報等が、各スクールと本部、各スクール間でスムーズに行き来し、素早い対応が可能になります。また、各教科のデータベースに、全ての教師がアクセスでき、その教科に関する意見や、質問、討議が可能です。

スピードアップがもっとも顕著なのが、講習時に毎日行う全教科のテスト集計と結果発表。各スクールで入力されたテストの点数がノーツを通してデータ管理室に集められ、本部コンピュータで、順位、偏差値などが出され、スクールに送信されます。そして、出力され、次の日には生徒一人ひとりに渡されます。つまり、毎日、小中学生約2万人分のテスト結果と、それぞれのステップ内での順位が翌日には生徒個人の手に届くというスピードです。

印刷配送センターを拡充

ステップでは、2万人を超える生徒が使う教材の大半を自社で作成・印刷しています。また県内125校舎に各種印刷物等を車両輸送で配送しています。その拠点が「印刷配送センター」です。昨年度、印刷配送センターを移転し機能をさらに拡充させています。

▲印刷配送センター



4 個別指導ステップ (K-STEP)

一人ひとりの希望に合わせた授業

2002年秋に個別指導専門スクールを藤沢に開校。さらに高校部各校舎にも個別指導専門のK-STEPを設置。マンツーマンでの授業を基本とし、特定教科の集中学習を希望する人、私立高校に通う人等々、生徒一人ひとりに対応したカリキュラムで授業を進めています。さらに中学生対象のマンツーマンの講座も設置しています。

ワクワク理科実験教室

湘南海岸に理科実験合宿施設 “湘南シーサイド・ラボ”

子どもたちが理科実験を通して自然の不思議に興味をもち、科学の楽しさを実感してくれたら、と湘南シーサイド・ラボを設置。充実した理科実験室を備えた生徒と教師のための宿泊できる研究・研修所として、96年春に開設しました。

理科実験室では、「ワクワク理科実験教室」や「ワクワク理科実験合宿」を開いています。2014年度は、6回の理科実験教室、理科実験合宿を実施。そのうち6月、8月、10月に計3回の親子理科実験教室を開催し、親子そろって理科のおもしろさに触れる試みを行っています。



理科実験合宿施設
湘南シーサイド・ラボ



ワクワク天体観測

厚木西スクールに設置された天体望遠鏡は、コンピュータ・フル制御の最新鋭システムです。宇宙の不思議に興味シンシンの生徒たちが、土星の輪や火星、星雲などを観望しています。親子での参加も歓迎しています。



高校別入試ガイダンス

合格への道筋を鮮明にするために、ステップが総力をあげて開催する「高校別入試ガイダンス」。各高校に焦点を絞って入試結果を徹底的に解析し、特色検査の対策をはじめとして公立新制度入試への合理的作戦などを紹介します。私立ガイダンスも実施しています。



ステップ主催 オープンキャンパス

生徒・保護者対象に、ステップ主催で当該の私立高校で開催しています。日大藤沢高校、東海大相模高校などで実施してきました。高校の先生にご説明していただき、さらにステップの教師が詳しい情報等をお伝えします。



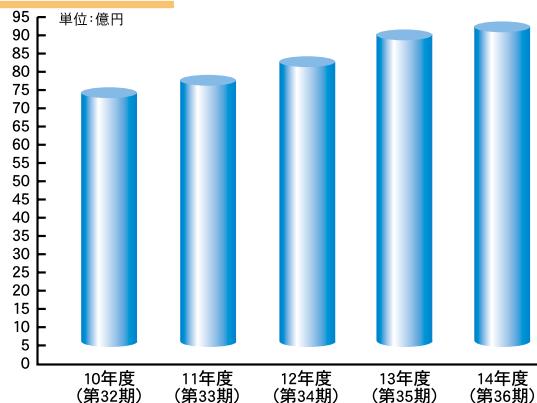
日大藤沢高校での
オープンキャンパス
の様子

小6 卒業記念ラリー

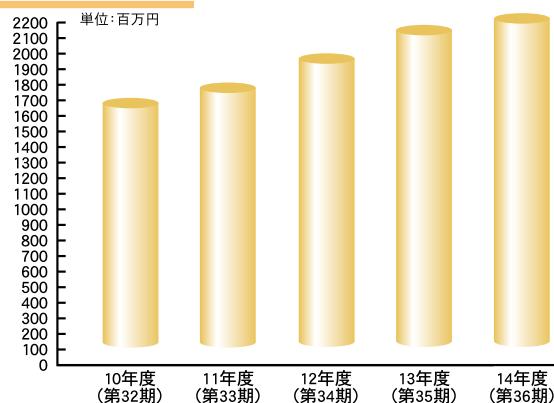
小6生は、中学生になってから役立つ「小6卒業記念ラリー」を行っています。計算問題、ローマ字の読み書き、世界の国名、ことわざ、歴史上の人物、県庁所在地、短歌俳句など、「中学校に役に立つ！身になる！」10のテーマをラリー形式で進めます。すべてクリアした生徒はさらに日本の旧国名70や、慣用句100など5つのテーマがある「スーパールリー」にチャレンジできます。



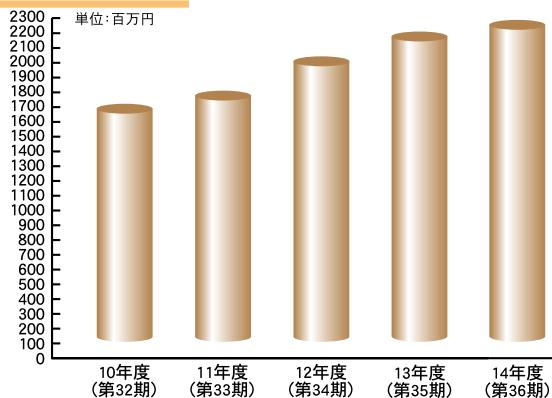
売上高



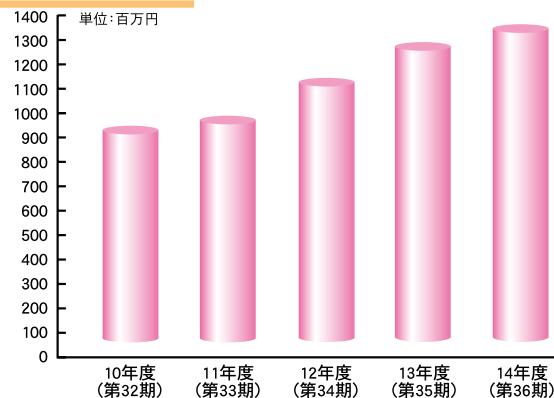
営業利益



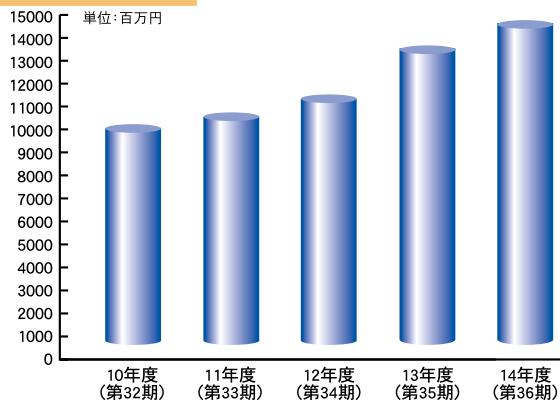
経常利益



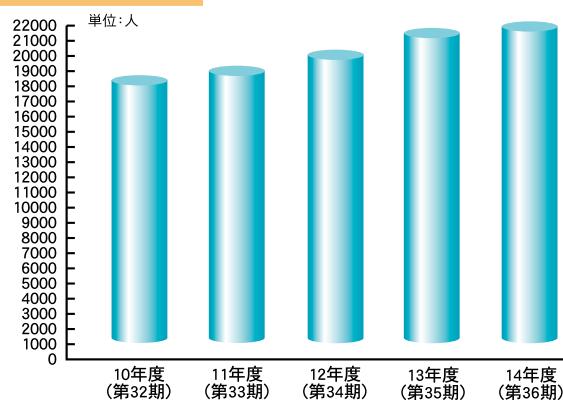
当期純利益



純資産



生徒数



生徒数は、期中平均の在籍生徒数です。

当社業績の概要

当社の学習塾としての特徴は、「教師は教える職人」として教師の専門化・高技術化を組織的に推し進めて授業の質の向上に継続的に努めていること、およびその高品質な授業力の一つの支えとした進学実績の高さです。

平成26年9月末日において、中高全教師596名中、正社員教師565名、専任講師21名、講師10名（うち5名はネイティブ講師）となっており、正社員率で94.8%、専任比率で98.3%に達しています。これらの教師陣が絶え間ない自己研鑽を重ね、教務力の強化を図り、小・中・高校生（小5～高3）を対象に、「勉強を通して自分を伸ばしたい」「成績を上げたい」「勉強する面白さを体感したい」「志望校合格に近づきたい」「上手な勉強法を身に付けたい」「苦手教科を克服したい」等の様々な学習ニーズに応え、勉強の過程と結果を全体として大切にしながら、日々生徒達の成長に貢献できる授業の実践に全力で取り組んでいます。

合格実績は当社の活動の成果のすべてではありませんが、努力の結果の一端を示すものではないかと思えます。今春の神奈川県の高校入試は公立高校新入試制度の2年目でしたが、数日間に渡る選抜期間の長さに加えて学力検査の一部に難度の大きな変化がみられる等、受験生にとっては負担の大きな緊張の日々となりました。その中、当社の小中学生部門から神奈川県の公立トップ高校20校に1,945名が合格しました。これは昨年度比200名増の過去最高の人数であり、県内公立高校に合格したステップ生の41.3%に相当します。結果、これら公立トップ高校の半数以上の11校において、また公立トップ高校の中で新制度の特徴の一つである特色検査を実施した12校のうち半数に当たる6校において、塾別の合格者数で当社がトップとなっています。また、ステップ生の通学圏内で最難関と位置づけられる国立東京学芸大附属高校への今春の合格実績は、同校の外部進学生用的一般枠102名のうち47名を占め、6年連続で各塾中トップの実績を残しています。

高校生部門については、ここ数年、人材育成に注力してきた成果が形となって現れ始め、各専門科目の教師陣の層が厚くなってきています。業界全体としてはライブ授業を映像授業に置き換える動きが進んでいますが、当社はあくまでも教師の息吹が伝わる生の授業をベースとして強化していきます。大学進学実績の面では、国公立、早慶上智等の難関校をはじめ、いわゆるMARCH+東京理科大といった人気校への合格者数も堅調です。当社は今後も、部活動や学校行事等を含む多面的な高校生活の充実と志望大学への現役合格を両立させたいという公立高校生の切実なニーズに応えられる体制作り注力します。また、生徒募集の面では、中学生部門を有した学習塾としての強みを存分に活かしていきます。

小中学生部門、高校生部門ともに、「日々指導技術の研鑽を怠らず、一人一人の生徒と向き合い、学力向上に真摯に取り組んでいく」という当社の基本的な方向性によって、教師一人一人の授業力アップに恒常的に取り組み、教師層の厚みを増し、組織力の向上に努め、全体の教務力、スクール運営力のレベルアップを図ります。

当事業年度の新規展開は、小中学生部門の5スクール（鎌倉市の大船笠間、横浜市の戸塚、東戸塚、センター南、藤が丘）です。当社のドミナントエリアをさらに充実させる形となりました。結果、スクール数は現状、小中学生部門が112スクール、高校生部門は12校、個別指導部門1校の計125校です。

生徒数の伸びは、小中学生部門、高校生部門ともに全体として底堅いペースを維持しており、塾生総数で見た当事業年度の生徒人数平均は前年同期比2.7%増となっています。

以上の結果、当事業年度の売上高は9,104百万円（前年同期比3.4%増）、営業利益は2,197百万円（前年同期比3.8%増）、経常利益は2,220百万円（前年同期比3.6%増）、当期純利益は1,355百万円（前年同期比6.9%増）となりました。

損益計算書（単位：百万円）

*百万円未満切捨

科目	前期	当期	増減
売上高	8,804	9,104	299
売上原価	6,024	6,290	266
売上総利益	2,780	2,813	33
販売費及び一般管理費	663	615	△ 47
営業利益	2,117	2,197	80
営業外収益	120	97	△ 22
受取利息	0	0	0
受取家賃	87	86	△ 0
その他	33	11	△ 22
営業外費用	94	75	△ 19
支払利息	19	9	△ 9
賃貸費用	60	65	5
その他	15	0	△ 15
経常利益	2,143	2,220	77
特別損失	70	36	△ 33
減損損失	70	36	△ 33
税引前当期純利益	2,073	2,183	110
法人税、住民税及び事業税	806	834	28
法人税等調整額	△ 1	△ 7	△ 5
当期純利益	1,268	1,355	86

貸借対照表 (単位: 百万円)

*百万円未満切捨

科目	前期	当期	増減	科目	前期	当期	増減
資産の部				負債の部			
流動資産	2,079	2,823	743	流動負債	1,733	1,750	17
現金及び預金	1,813	2,562	748	1年内返済予定の長期借入金	762	631	△130
売掛金	59	49	△9	未払金	72	64	△8
たな卸資産	22	27	4	未払法人税等	422	475	53
前払費用	107	110	2	その他	475	578	103
繰延税金資産	73	70	△3	固定負債	886	1,233	346
その他	4	3	△0	長期借入金	562	909	347
貸倒引当金	△1	△1	0	その他	324	323	△0
固定資産	13,913	14,491	577	負債合計	2,619	2,983	364
有形固定資産	13,304	13,857	552	科目	前期	当期	増減
建物及び構築物	5,762	6,234	472	純資産の部			
土地	7,207	7,529	321	株主資本	13,371	14,327	955
その他	334	92	△241	資本金	1,778	1,778	—
無形固定資産	18	32	14	資本剰余金	2,072	2,072	—
投資その他の資産	590	601	11	資本準備金	1,851	1,851	—
投資有価証券	19	20	1	その他資本剰余金	220	220	—
繰延税金資産	133	143	10	利益剰余金	9,521	10,477	955
差入保証金	413	414	1	利益準備金	137	137	—
その他	24	23	△1	その他利益剰余金	9,384	10,340	955
資産合計	15,993	17,314	1,320	別途積立金	97	97	—
				繰越利益剰余金	9,286	10,242	955
				自己株式	△0	△0	—
				評価・換算差額等	2	3	1
				その他有価証券評価差額金	2	3	1
				純資産合計	13,373	14,330	956
				負債・純資産合計	15,993	17,314	1,320

部門別売上高

事業部門別の売上高は、次のとおりです。

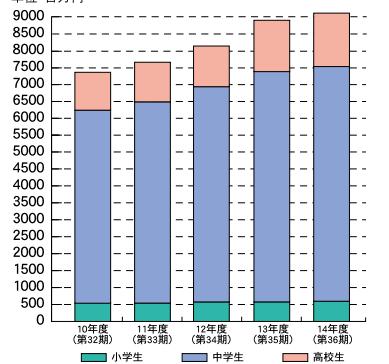
小中学生部門

小中学生部門は生徒数が期中平均で2.7%の増加等により、7,534百万円(前年同期比2.9%増)となりました。

高校生部門

高校生部門は生徒数が期中平均で2.5%の増加等により、1,569百万円(前年同期比5.8%増)となりました。

単位: 百万円



部門別売上高明細表

(単位: 百万円)

区分	期別	前期		当期		比較増減金額
		売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)	
小中学生部門	小学生	567	6.4	572	6.3	5
	中学生	6,753	76.7	6,961	76.5	207
	小計	7,321	83.2	7,534	82.8	212
高校生部門		1,483	16.8	1,569	17.2	86
合計		8,804	100.0	9,104	100.0	299

株主資本等変動計算書 (単位:百万円)

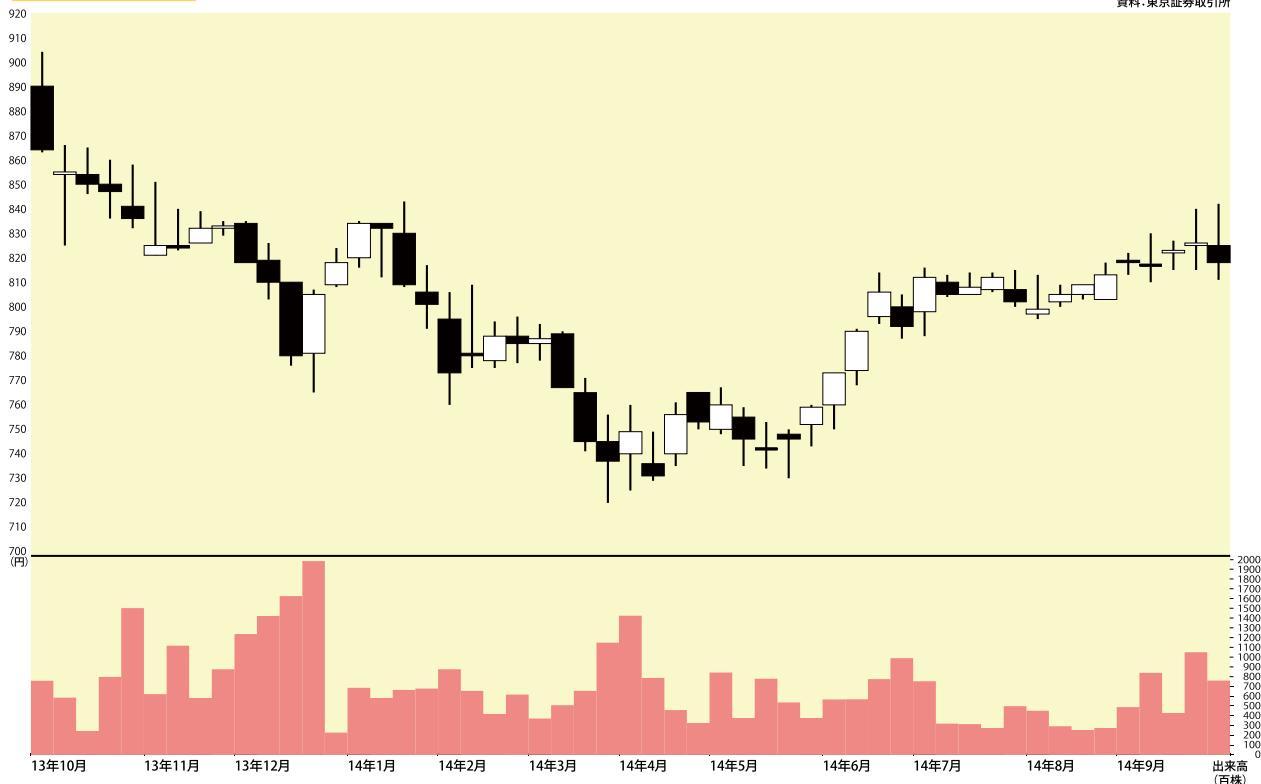
*百万円未満切捨

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計
					別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期末残高	1,778	1,851	220	2,072	137	97	9,286	9,521
当期変動額								
剰余金の配当							△400	△400
当期純利益							1,355	1,355
株主資本以外の項目の当期 変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	955	955
当期末残高	1,778	1,851	220	2,072	137	97	10,242	10,477

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額等 合計	
当期末残高	△0	13,371	2	2	13,373
当期変動額					
剰余金の配当		△400			△400
当期純利益		1,355			1,355
株主資本以外の項目の当期 変動額(純額)			1	1	1
当期変動額合計	—	955	1	1	956
当期末残高	△0	14,327	3	3	14,330

株価推移 (週足)

資料: 東京証券取引所



株式の状況 (平成26年9月30日現在)

発行済株式の総数 16,670,000株
株主数 2,349名

所有者別株式分布

単位: 千株

個人・その他	2,228名 (94.84%)	個人・その他	6,800 (40.79%)
金融機関	19名 (0.80%)	金融機関	2,303 (13.81%)
国内法人	23名 (1.01%)	国内法人	4,885 (29.32%)
外国人	52名 (2.21%)	外国人	2,566 (15.39%)
証券会社	25名 (1.06%)	証券会社	113 (0.67%)
保管振替機構名義株式	1名 (0.04%)	保管振替機構名義株式	1 (0.01%)
自己名義株式	1名 (0.04%)	自己名義株式	2 (0.01%)



来期の見通し

当社の生徒人数は、学年による濃淡の違いはありますが、小中学生部門、高校生部門ともに総体として底堅く推移しています。その背景には、先述した長年の蓄積の成果である優れた授業力、豊富な受験情報、的確な進学指導力の結果としての合格実績面での強みが、今春2年目を迎えた神奈川県公立高校の新入試制度において一層強く意識され、当社のブランド力が向上したことがあると思われます。また、8年ぶりの抜本的な改変となり当初は不安感が先行した新入試制度も、今春で2周しておおよそ落ち着いてきましたが、入試実力勝負の色彩が濃い制度となっているため、受験学年である中3生においては通塾ニーズが高まる傾向が続いています。

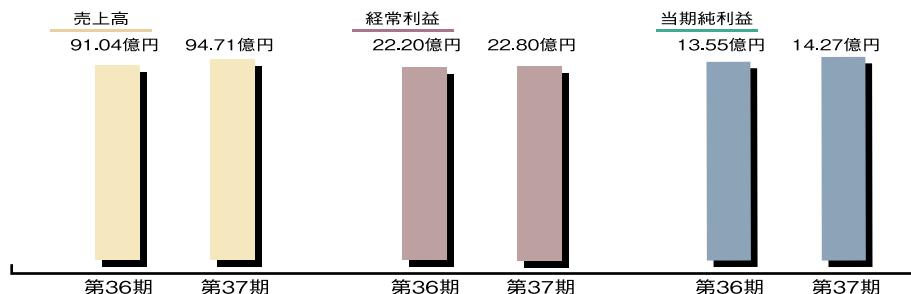
しかしながら、中長期的なスパンで見た場合、今後については安易に楽観的な見通しを持つものではありません。基本的な流れとしての少子化は神奈川県でも依然進行しており、学習塾間の競争は厳しくなりこそすれ緩やかになることは予想しがたい現状です。消費税増税の影響も要注意と考えます。公立高校新入試制度については、現状では生徒・保護者の間で概ね消化された感がありますが、今春のように学力検査の難度に大きな変化がみられたり、面接・特色検査等の運用に各高校ごとの特徴が明らかになると、受験生やそのご家庭にどのように受け止められ影響を上げていくのか等、不確定な状況も存在しています。学力検査、面接、内申の各選抜資料の比重や特色検査の採否など運用レベルでの対応次第で高校ごとの選抜事情が異なってくるため、これまでも増して柔軟な学習指導、詳細・的確な進学情報、その結果に基づくデータを駆使したさらに精度の高い受験指導・進学指導が求められます。今後とも状況変化に機敏に対応しながら、授業とシステムの充実に努めてまいります。また、中長期的視点からも、マーケットの深耕に力を尽くします。

当社が注力している高校生部門においては、少子化と大学定員の拡充等を背景とした大きな環境変化が進行中ですが、今後とも授業内容の充実、柔軟なシステム作り、進学指導力の向上に努め、高校生活の充実と大学受験への実戦力養成という現役高校生ならではの二つの大きなニーズへのバランスのとれた対応を深化させます。

なお、昨今の社会情勢や景気動向がご家庭に与える影響についても注意深く見守り、実態の把握に努める必要があると考えています。

来春の新スクールの開校は、小中学生部門と高校生部門を合わせて5校前後を予定しています。

通期の業績は、売上高9,471百万円(前年同期比4.0%増)、経常利益2,280百万円(前年同期比2.7%増)、当期純利益1,427百万円(前年同期比5.3%増)を見込んでいます。



業績予想数値は、平成26年10月31日に東京証券取引所市場第一部へ提出した決算短信に記載したものです。

会社の経営の基本方針

当社は、「子供たちを元気にする塾」をコンセプトに「楽しくて、かつ力がつく」授業をモットーとしてきました。生徒たちの健全な成長を学習面で応援し、生徒たちの学力向上を通して社会に貢献することが設立以来の基本理念です。

これを実現するため、以下の5項目を経営の基本方針としています。

- ①学習塾専業に徹し、経営資源を専門分野に集中的に投下する。
- ②スクールは、神奈川県内に集中して展開する。
- ③学習サービス内容の高品質化を不断に追求する。
- ④県内公立トップ高校への進学実績No. 1を堅持し、さらに難関国私立高校への合格実績を一層向上させる。
- ⑤公立高校生を中心にした地元現役高校生をサポートする大学受験STEPの発展を推進する。

当社は生徒たちの学力向上をサポートし、その成果を通して社会へ貢献することを基本理念としています。これを実現するためには「高い教務力を持った専門的な人材による高品質の学習指導サービスの提供」が重要であり、それを担う有為な人材の採用・育成が経営戦略の要となります。そのため、人材採用・育成の専門チームを組織し、積極的な採用、育成活動をコンスタントに行っています。

神奈川県では、最近、入試制度の抜本的な改変、大学進学実績の向上、教育内容の多様化等、公立高校の復権が進んでいます。当社の小中学生部門は、公立高校の基盤が比較的強固な地域を中心にドミナント展開を行ってきたことが強みとなり、この公立高校の復権を追い風としています。

高校生部門は、大学入試が実質的な全入化に近い状況の中で、学校生活の充実と大学受験への対応力養成という現役高校生ならではの二つの大きなニーズへのバランスのとれた対応が求められています。一人一人の多彩な高校生活の状況を丁寧に把握した上で学習指導を行う体制の構築、受験形態の多様化に対応したシステム作り、環境作り等に全力でチャレンジしているところです。今後とも小中学生部門と並ぶ経営の柱として、高校生部門の発展を図ります。

商号 株式会社ステップ
 証券コード 9795
 本部 〒251-0052 藤沢市藤沢602番地
 TEL 0466-20-8000(代)
 事業内容 ■高校受験STEP
 小5から中3までの学習・受験指導
 ■大学受験STEP
 高1から高3までの現役高校生対象の大学受験指導
 スクール 神奈川県内 125スクール
 教材研究課 藤沢市湘南台2-1-19
 印刷配送センター 藤沢市石川6-26-21

COMPANY DATA

創業 昭和50年1月
 設立 昭和54年9月
 資本金 17億7833万円
 代表取締役社長 龍井郷二
 社員数 866名(正社員662名、その他204名)
 営業地域 神奈川県内

株主メモ

決算期 9月30日
 定時株主総会 12月
 期末配当金基準日 9月30日
 中間配当金基準日 3月31日
 1単元の株式数 100株

公告の方法 当社ホームページに掲載します。
<http://www.stepnet.co.jp/>
 ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた時は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人および
 特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
 事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

上場株式配当等の支払いに関する通知書について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねています。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

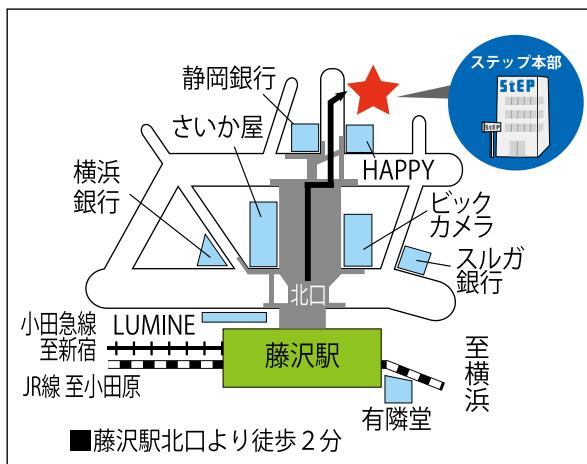
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封しています。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

(お知らせ)

特別口座に関する住所変更、単元未満株式買取請求、振替申請および配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、右記株主名簿管理人三井住友信託銀行のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。

- フリーダイヤル
0120-782-031 (受付時間 平日9:00~17:00)
- ホームページ
<http://www.smtb.jp/personal/agency/>

株式会社 **STEP** 株主通信



〒251-0052
神奈川県藤沢市藤沢602
☎0466-20-8000(代)
<http://www.stepnet.co.jp/>